

CORPORATE COMMUNICATION BOOK 2025-2026

NIHON YAMAMURA GLASS

財務・業績・事業

毎日が、澄んでいく。



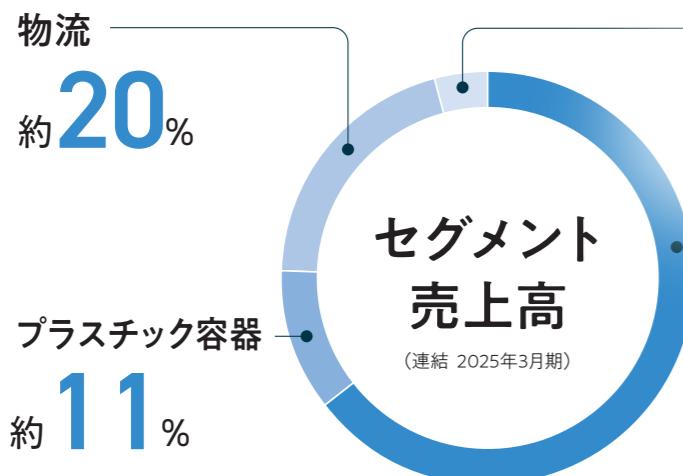


YAMAMURAの強み

売上高 **733億円**

(連結 2025年3月期)

「循環型社会の実現に貢献する精神」を大切に、お客様や世の中が抱える課題解決に挑み続け、ガラスびん関連事業を中核に、プラスチック容器関連事業、物流関連事業、ニューガラス関連事業を展開しています。



国内シェア
No.1

国内シェアは約40%で
No.1。関東・関西3拠点
に自社工場を持ち、国
内最大級の生産体制。
身の回りの様々なガラ
スびんを生産しています。

ニューガラスカンパニー 製品化実績

200品種以上

市場のスピードに対応すべく「独自の組成開発」、
「迅速な量産化」を信念として取り組んできた結果、
200品種以上の製品を採用いただいている。



飲料用
ペットボトルキャップ
販売数量(年間)
30億個以上

独自開発のTENキャップを筆頭に、安定生産
と確かな品質で暮らしを支えています。



沿革

- 1897年 山村商店 六甲山麓珪砂採掘販売を経営
- 1914年 兵庫県西宮市において山村製塙所として創業
- 1955年 株式会社に改組し、山村硝子株式会社として発足
- 1960年 プラスチック容器工場建設、製造開始
機工部(現:エンジニアリングカンパニー)開設
- 1967年 兵庫県西宮市に山村倉庫株式会社設立
- 1970年 東京・大阪証券取引所市場第一部上場
- 1973年 リサイクリング事業開始
- 1987年 兵庫県西宮市にニューガラス研究所を新設
- 1989年 広島硝子工業株式会社と合併
- 1991年 フィリピンにサンミゲル山村アジア社設立
- 1998年 日本硝子株式会社と合併、日本山村硝子株式会社として発足
- 2004年 中国に展誠(蘇州)塑料製品有限公司設立
- 2008年 サンミゲル山村パッケージング社へ資本参加
山硝(上海)商貿有限公司設立
- 2009年 兵庫県尼崎市に本社移転 二本社体制スタート
タイに山村インターナショナル・タイラント社設立
- 2021年 山村JR貨物きらべじステーション株式会社(合弁会社)設立
- 2022年 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からスタンダード市場に移行



物流拠点数

41拠点

(2026年1月時点)

首都圏と近畿圏を中心に展開。中部圏、
九州・沖縄地区にも拠点を設け、国内を
横断するネットワークを広げています。

植物工場野菜の実験品種数

500品種

多品種の栽培経験を活かし、品種
ごとに最適な管理を行い、安定収
量・高品質を実現しています。



カンパニー・研究開発センター紹介

ガラスびん カンパニー

国内ガラスびんシェアNo.1。
グループ全体で関東・関西に4拠点、国内シェア約40%を占める国内最大級の生産能力を有しています。

100年を超えるガラスびん製造の確かな実績と高い技術力、そして充実した開発サポート体制で、酒類・食品・調味料・ドリンクなど、身の回りの様々なガラスびんを生産しています。

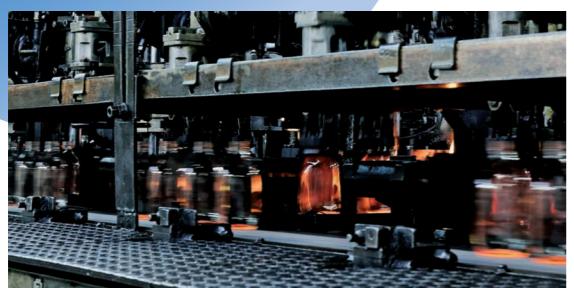
エンジニアリング カンパニー

国内唯一の
製びん機メーカー

最適な設備&
レイアウトを提案

飲料・食品製造に関する
多彩な設備を製造

相談できる
専門メーカー



国内ガラスびんメーカーのニーズにマッチした製びん機を製造し、国内シェアは36%を誇ります。ガラスびん製造で培ったノウハウを活かし、容器にダメージを与えない搬送や、複雑な形状の容器を取り扱うための充填包装装置をご提案します。お客様の生産方法や運用にマッチした装置・レイアウトでも生産性の向上に貢献。業界を問わず、お客様が抱える大小様々な悩みを解決いたします。



研究開発センター

枠にとらわれない
自由な発想

マーケティング観点から
開発テーマの選定

未来社会につながる
課題解決型の研究開発

開発の基本コンセプト
は「安心・安全」「環境」「
サステナブル」。

「100年先も必要とさ
れる会社」を目指し、お
客様やパートナーと共に社
会課題の解決に取り組んで
います。

プラスチック カンパニー

プラスチック容器の軽量化、高性能化など新たな可能性へのチャレンジを続けています。特に環境に貢献できる開発に注力し、新たな価値の提供を目指しています。また、社会的な課題や、ペインポイントを解決できるような新製品開発、新規分野参入への挑戦にも力を入れています。海外展開では、中国のプラスチックキャップ製造・販売子会社の事業規模拡大を進めています。また、国内外で多くのビジネスパートナーとの関係をしっかりと構築し、事業の拡大・発展を実現していきます。

お客様から高評価を
いただいている耐熱TENキャップ

信頼される品質と安定した供給体制

キャップリサイクリングシステムの
構築など、環境貢献への強い取り組み

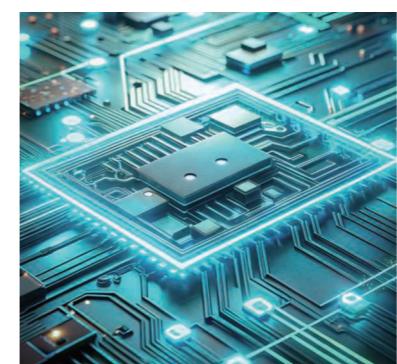
海外での生産実績と豊富な経験値



グループ内
連携の提案力

顧客ニーズに
応える開発力

スピーディーな製品化を
実現する技術力



ニューガラス カンパニー

エレクトロニクス、エネルギー、自動車関連など幅広い分野で製品が使用されています。未来社会を支える基盤技術の開発を行いながら、お客様の多種多様なご要望に誠実に耳を傾け、ニーズにお応えできる材料開発を行っています。様々な用途での市場化経験で確立した独自の技術・ノウハウで、ガラスの持つ焼結・封止・接着・耐熱等の性能をお客様のラインで引き出します。全部門が一体となり、最適な製品・技術をスピーディーかつ的確にご提案いたします。グループ内で連携して新たな素材・部材の開発や生産技術の改良も進めています。

植物事業部

猛暑や異常気象にも
対応する安定供給力

高栄養野菜ラインアップで
健康的な食生活をサポート

500品種以上の
栽培実績を誇る研究開発力

クリーンな環境が生み出す
安全で安心な野菜



CustomFix-3D



がん放射線治療用固定具

植物工場野菜の販売及び研究開発を担っています。「きらきらベジ」のブランドのもと、健康をサポートする高栄養野菜と、気候変動で供給が不足しやすい葉物野菜を中心に展開。スーパー「ケール」を主力とし、独自技術で特定の栄養価を高めた栄養機能食品、機能性表示食品のシリーズも取り揃えています。



MESSAGE FROM THE PRESIDENT

受け継がれてきたアイデンティティを軸に グループ一丸となって豊かな社会の実現に貢献します

当社は2025年に創業111周年を迎えました。「事業は人なり」「商いの基は品質にあり」「革新なくして未来なし」を基本理念とし、「100年先も必要とされる会社」というグループ経営ビジョンのもとで、持続的な成長を追求しています。山村スピリットと呼ぶべき、事業に対する「誠実さ」や新しいことに「挑戦する勇気」、人への「優しさ」を守りながら、既存事業の強化を図り新たな成長の基盤を確立してまいります。

創業111周年の節目に、新たなアイデンティティメッセージとして「YAMAMURA ONE」を掲げました。まずは経営陣が一丸となり、グループ全体、またステークホルダーの皆様ともひとつに繋がって豊かな社会を創り出します。

当社グループでは、ガラスびん関連事業を中心、

プラスチック容器関連事業、物流関連事業、ニューガラス関連事業を展開しています。今後、注力するニューガラス関連事業では、最先端のガラス材料を扱っており、半導体、電子部品、モビリティ関連、エネルギー関連、通信の市場を開拓しています。また、研究開発センターでは、「医療」「エレクトロニクス・エネルギー」「環境」の領域で新事業を創造する開発を行っています。

事業を描くうえで「できない」と言われると、むしろ「何としても実現したい」と燃えてくるのが私の性分です。今後もガラスびんという土台を守りつつ、新たな価値の創出を通じて、ステークホルダーの皆様から「その手があったか」と驚かれるような一手を打ち出してまいります。



代表取締役
社長執行役員
山村 昇

YAMAMURAで働く仲間

YAMAMURA ONEを仲間たちと体現

N.F

コーポレート本部 経理部経理グループ

入社わずか数年で海外出張に同行できたり、業務改善提案が採用されたりと、社歴に関係なく挑戦の機会を得られることが魅力で、年次が浅い段階から多様な経験を積める環境が整っています。ジョブローテーション等の充実した制度があり、オールマイティに活躍している人材が多いのも当社の特長です。経理部は経営層と密に関わるため責任は大きいですが、その分やりがいも非常に大きいです。

今後も周囲と連携しながら「YAMAMURA ONE」を体现し、組織の成長に貢献していきたいです。

ガラスびんのこと
何でも答えられる人に

I.T

ガラスびんカンパニー 営業本部
西部営業部 営業第3課

部署間わず手厚く指導してくれる懐の深さ、個々の考えを尊重してくれる温かい雰囲気が当社の魅力です。誰もが自然体で肩の力を抜いて働ける環境がここにあります。お客様の価値観は様々で、時に厳しい場面にも出会いますが、それらを乗り越えたときにより強固な信頼関係を築け、自身も成長できることを実感しています。

「ガラスびんのことならなんでもある人に聞けば大丈夫!」と思ってもらえる人材を目指し、いっそう励んでいきます。



ニューガラス分野で 新材料を開発するのが夢

M.R

ニューガラスカンパニー
開発営業統括部 開発チーム

些細なことでも周囲が懇切丁寧にサポートしてくれる社風は本当に有難く、おかげで毎日イキイキと業務に励んでいます。

教育制度も充実しており、社員の成長を真摯に後押ししてくれています。このように恵まれた環境だからこそ、「もっと成長したい」という気持ちが高まります。これからは先輩方のロジカルな思考法を学び、「ニューガラス分野で新たな材料を開発する」という夢を叶えていきます。



社会に貢献できている その実感が、やりがい

H.T

プラスチックカンパニー
生産技術部

当社製品は、生活に身近なものが多く、日々の業務を通じて「自分の仕事が社会に貢献している」という大きなやりがいを感じています。

働き方の面では、年次に関係なくフレックスタイム制やテレワークを利用でき、柔軟に働ける環境も魅力です。生産技術部は、設計から生産までの全工程に関わるため、幅広い知識が身に着き、他部署との連携や調整力も自然と磨かれています。将来は、専門的な技術はもちろん調整力にも長けた「任せて安心な」存在を目指しています。



環境負荷低減 研究技術開発

環境負荷低減を目的とした研究技術開発を継続的に行い、プラズマケミカル複合技術を用いた排ガス処理技術の実用化、水素燃焼によるガラスびんの生産に成功、非炭酸塩原料とアンモニア燃料によるCO₂フリーの実証などの成果をあげています。



環境

Environment

地球温暖化対策

山村グループが掲げた温室効果ガス排出量削減目標*は2023年9月にSBTiから1.5°C水準短期目標の認定を取得、持続可能な社会の実現のため、省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物削減に努め、地球環境負荷の低減により一層貢献していきます。

*2030年度までに(2019年度比)
Scope1:Scope2:46.2%削減
Scope3:27.5%削減

3R+Rの推進

製品を通じた3R

ガラスびんは3Rをすべて実践する環境にやさしい容器です。当社はびんの軽量化、びんリユースの普及、水平リサイクル推進に取り組み、創業以来、循環型社会の形成に貢献しています。

また、使い終わったペットボトルキャップを再び新たなキャップや付加価値のある製品へ生まれ変わらせることを中心とした、プラスチックリサイクルプロジェクトを推進しています。

本プロジェクトは、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のアワード企画「みんなで選ぶ!TEAM EXPO」にて、全9部門のうち「イノベーティブ賞」と「みんなで選ぶ共創チャレンジ賞」の2部門をW受賞しました。

+R (Renewable:リニューアブル)

再生資源化原料を使用した製品づくりにも取り組んでいます。廃棄もみ殻を原料に用いたガラスびん「MomiGlass(モミガラス)」を開発しました。3Rに「Renewable(リニューアブル)」の観点を加え、廃棄物を再生原料として活用することで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します。



Social

社会



社員が活躍できる 環境づくり

社員が個性と能力を十分に発揮し活躍できる職場づくりのため、在宅勤務やコアタイムのないフレックスタイム等柔軟な働き方ができる制度や、時間外労働の削減や有給休暇の取得率向上に取り組み、社員が長期的に安心してキャリアを築ける環境づくりを進めています。



社会貢献活動

1980年代から主に東南アジアを中心にガラスびん製造の技術指導に取り組んでいます。

また、子どもや若い世代への環境教育活動も積極的に実施しています。持続可能な社会について共に考えていくきっかけづくりとして、講義やガラスびんを使った工作体験などを行っています。

人材育成

「事業は人なり」を基本理念に、階層別研修や選抜型研修、自己啓発支援を通じて社員の主体的なキャリア形成を後押ししています。

さらに、自分の意志で異動希望先を申告できるオープンチャレンジ制度、職群転換制度等、挑戦と成長の機会を提供しています。



Governance

ガバナンス

ガバナンス体制

取締役会を、経営の基本方針、法令で定められた事項及びその他経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行を監督する機関と位置付けており、毎月1回開催するほか、必要に応じて臨時取締役会を開催しています。

取締役会は業務執行取締役への権限移譲を進めるとともに、従前から導入済みの執行役員制度を適正に機能させることで、取締役会における中長期的な企業価値向上のための施策検討をより一層充実させます。なお、当社は取締役の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、当社コーポレート・ガバナンスの充実を図るため、取締役会の任意の諮問機関として「指名・報酬委員会」を設置しています。

経営会議においては、取締役会の設定する経営の基本方針に基づいて業務執行に係る重要な案件を審議・決定し、グループ社長会においては、重要な経営方針を共有するとともに相互牽制を図っています。

また、当社は監査等委員会を設置しており、監査等委員は取締役会のほか、その職務分担に従い重要な会議に出席し、取締役・執行役員の業務執行に関して監視を行っています。監査等委員4名のうち3名は社外取締役です。これらの体制をとることで、経営の機動性や効率性を確保しながら、十分な統制機能を働かせることが可能と判断しています。



基本方針

当社グループの基本方針(フィロソフィ)に基づき、経営の透明性・公正性を確保した上で、迅速・果断な意思決定を行うことで、持続的な成長及び中長期的な企業価値向上を図るとともに、株主をはじめ顧客・取引先・従業員等の各ステークホルダーの信頼に応える経営を行っていくことを、基本的な考え方としています。引き続き、取締役会の監督機能のさらなる向上、審議の一層の充実及び経営の意思決定の迅速化を図り、コーポレート・ガバナンスの実効性をより一層高めていきます。

基本哲学(フィロソフィ)

[基本理念]

基本理念は、山村グループの考え方や行動を支えるもので、企業理念の中心となるものです。

事業は人なり

山村グループは、人間を尊重し、明るい経営を実現する。

商いの基は品質にあり

山村グループは、心をこめた製品とサービスをもって、快適な生活文化に寄与する。

革新なくして未来なし

山村グループは、常にイノベーションに挑戦し、燃える集団を目指す。

[存在意義]

人と技術の力で、豊かな社会と 快適な生活をつくりだす

[コーポレート・メッセージ]

Heart & Technology

人を信じる心 より良いものを
大切にする「商いの心」 生み出してゆく「匠の技」

グループ経営ビジョン

100年先も必要とされる会社

ずっと未来も、山村グループに関わる全ての人や社会の役に立ち、必要とされ続けるグループでありたい。

CORPORATE
COMMUNICATION
BOOK 2025-2026

NIHON YAMAMURA GLASS

非財務・ESG

毎日が、澄んでいく。

